

御会式新聞

臨時特別版

発行所
おえしき連合会
編集責任者
川井 誠
TEL 03-3987-7705

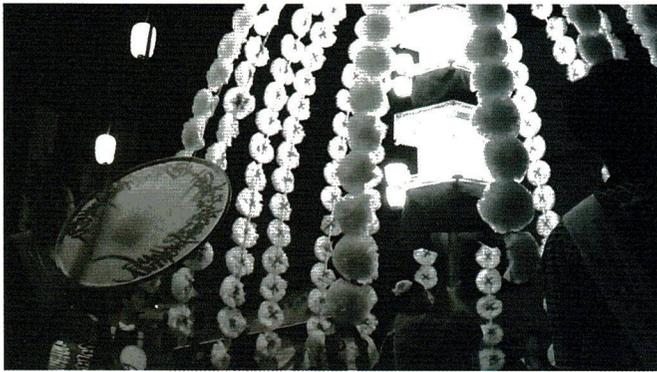
豊島区指定無形民俗文化財 雑司ヶ谷鬼子母神 御会式万灯練供養

十月十七日(月) 午後七時 集合
十月十八日(火) 両日共に 午後七時半 出発

集合場所 都電 鬼子母神前停留所前

練供養の順番は

鬼子母神境内掲示板に



今年の開催は、十七日、十八日両日ともに規模を大幅に縮小しての開催になります。集合場所都電鬼子母神前電停から表参道を目白通りに出るまでの間を待機場所とします。

万灯練供養に 参加される方々へ

距離は短くなりましたが、沿道の方々のご理解、ご協力で練供養が成り立っていることは、例年と変わりありません。

- ◆ 安心・安全な練供養を実現するために皆様のご協力をお願いします。
- ◆ 行列内での飲酒・喫煙の禁止。
- ◆ 用足しはトイレで。
- ◆ 裸での参加の禁止。
- ◆ 警備の方(警察官、消防団員、赤提灯やタスキを掛けた各講の世話人、赤色灯を持つている警備の方)の指示に従ってください。
- ◆ 基本的な新型コロナウイルス感染症対策(参加前の検温、マスクの着用、適宜の手指の消毒)をしましょう。



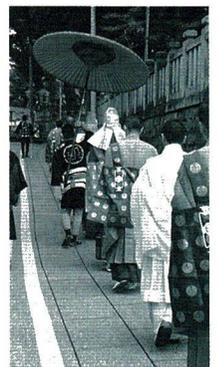
万灯練供養は、日蓮聖人の入滅を偲ぶ宗教行事です、向拝口では、スムーズにお参りができるように、警備の指示に従い、お参りの際は、鉢巻や帽子、被り物を取り、お題目「南無妙法蓮華経」を唱え、太鼓を叩いてお参りしてください。

大祈禱会のご案内

恒例の鬼子母神堂での御会式特別大祈禱会が行われます。ご祈禱では、参加万灯講社の講員、その家族と信徒の皆様が祈願されます。

大祈禱会は山主様を鬼子母神堂にお迎えする行列で始まります。行列は威光山法明寺から出発して鬼子母神堂へ向かいます。

この行列が続く中、鬼子母神堂内では、この祈禱会に参列する信徒の皆さんが一心にお題目を唱和し、向拝口では花園中の方々が太鼓を打って行列をお迎えします。



御会式新聞スポンサー募集のお知らせ

来年の御会式新聞はめでたく第50号を迎えます。伝統ある行事を地元の皆様にご紹介する「御会式新聞」を支えてくださるスポンサーを随時募集しております。

ご興味ある方は、こちらにアクセスお願いします！

御会式新聞編集部

oeshikishinbun@googlegroupes.com

まだまだ先の来年のお話ですが、お忘れなく！

三年ぶりの練供養

御会式連合会会長 川井 誠

三年間でできなかった万灯練供養が大幅に規模を縮小した形となりましたが再開する運びとなりました。この間の御会式は万灯もなく、限られた人数で祈祷会を行うなど非常に制限を受けながらも厳かに行われていました。

思えば令和二年明けから新型コロナウイルスの脅威が私たちを襲いました。毎日発表されるクルーズ船や、屋形船で発生した患者の数をにらみつつ次第に拡大するウイルスに戦々恐々しつつ、まだどこかで他人事に考えていました。そして、国内での感染が広がり、「緊急事態宣言」が

発出され、社会活動が制限され、電車の中でマスクをしていない人を憎悪の眼差しで見つめる事態となりました。ウイルスに対する恐怖感を誰しもが抱いたと思います。しかし、現在その恐怖感はある種の「慣れ」に変わった気がしています。

世界中の人がマスクを着用し、集わず、家庭にこもり雌伏の時をすごす中、ウイルスの正体を見極める科学者たちの手でワクチンが開発され、さらに治療薬が製造され、世界中に行きわたりました。それは、私たち地球で暮らす人類が得た知恵の結晶であり、国境を越え連携する助け合いの結晶でした。そして今私たちは、ウイルスに恐怖するのではなく、闘い、共存すると

ころまで辿り着きました。基本の感染対策を継続するという「慣れ」の期間に入っているのではないのでしょうか。次の段階「克服」まで今しばらく「正しい慣れ」という武器で闘い続けましょう。

◆人は集いたい

見えないウイルスは私たちの行動を制限するという不由さをもたらしました。そこで体験した不自由さは「私たちは集いたい、語りたい」「生き物だったことを改めて認識させてくれました。集うために動き、集い、語らい、飲食をとともにする、当たり前に思っていたことがとても大切なことだったので

◆三年の月日

練供養ができなかったこの間に私たち御会式連合会にも数

多くの変化がありました。十七日のお穴の鬼子母神からの練供養で毎回高張持ちを依頼している日本女子大学薬袋研究室の学生さんは高張持ちを経験することなく新たな進路に進んだことでしょうか。「青春のいい思い出」と言ってくださっていましたのでとても残念です。

また、長年連合会と多くの講社の手拭、半纏を製造してくださり、新聞の広告でもお世話になつていた佐藤染業さんがお店を閉められました。地元での製造が難しくなり、これもまた残念なできごとになりました。

そして、連合会の役員として連合会ブースを運営するなど長年活躍していたたい目白睦商工睦の横前康司氏が病に倒れ逝きました。ご本人の希望で棺の中の彼は半纏姿でした。今年の御会式はこの友にも捧げるものとなります。改めてご冥福をお祈りします。

残念なことばかりではありません、連合会所属の三つの講では新たな講元を迎えました。若い講元の下、次の世代にしっかりと練供養を伝えてくれるものと確信しています。

◆御会式新聞の新たな門出

今年の新聞は、これまでにない

練供養参加者募集中!

万灯練供養に参加してみたいけど・・・どうしたら?と迷っておられる方、お気軽に鬼子母神堂までお問合せください。

TEL〇三・三九八二・八三四七



かった「規模を縮小」しての開催となり、臨時特別号という形で発行しました。

本来であれば、昭和四十五年高田若睦として尾上多喜雄氏が第一号の新聞を発行して以来、今年記念すべき五十号となるはずでしたが残念ながら五十号は来年までお預けとなりました。

新聞はこの間、御会式連合会が発足し、今の形になるまで多くの方のご尽力をいただき続いてまいりました。歴代連合会長及び編集者の皆様に改めてお礼申し上げます。特に、平成元年の第十九号から令和元年の第四十九号まで三十一号の新聞発行をてがけていただきました元連合会長兼編集責任者堀口吉三郎氏には同氏の本業である印刷も含め多大なお力をいただきました。篤くお礼申し上げます。

新聞の印刷は本号より新たに鶴岡三光堂さんにご依頼することになりました。また編集部にも新たな若い力が加わりました。今後の御会式新聞にぜひご期待ください。

そして、短い距離となりましたが、「正しい慣れ」で練供養を楽しみましょう。

令和4年 御会式連合会 役員名簿

役職	氏名	所属	講社
顧問	武田英男	東部	睦会
会長	川井塚一	高目	睦会
副会長	石内堀良	雑田	睦会
	加藤森一	高池	睦会
	金北川孝	東大	睦会
	関口正朗	雑東	睦会
(会長および副会長は、御会式新聞編集部も兼務する。)			
計査	高野れい子	雑東	睦会
監査	清崎泰樹	高南	睦会
総務	阿久津勇一	池南	睦会
編集	深金子山	大燈	睦会
	野島恒和	雑南	睦会
	深並高山	目東	睦会
	工外清吉	青目	睦会
太鼓販売責任者	藤田和男	青目	睦会
連合会ブース企画販売	田松澤鍋島	青目	睦会
上記外	長赤富川福磯安細平	青目	睦会